



地域猫活動って にゃんだ？

～命にやさしいコミュニティをめざして～

令和5年4月16日
猫ともクラブin大阪狭山
中田 智子

【事業の目的・内容】

- 「目的」
 - ・人と動物がしあわせに共生できるまちづくり
 - ・その一つの方法としての「地域猫活動」を知ること
 - ・現状把握と今できることを実践すること
- 「内容」
 - ①地域猫活動を学ぶ
 - ②ペット飼育状況アンケートの実施
 - ③自治会単位の啓発活動
 - ④命の教室の実施



【事業実施期間・場所・対象者など】

- 「実施期間」 令和5年6月1日～令和6年3月31日
- 「実施場所」 市民活動支援センター、市内各所
- 「対象者」
 - ①地域猫活動勉強会→自治会、住民、ボランティア、行政など
 - ②ペット飼育状況アンケート→緑ヶ丘地区、西山台住宅など
 - ③自治会単位の啓発→猫ともで相談が寄せられている地域など
 - ④命の教室→大阪狭山市内の学校園など
- 「参加者見込み人数」 主催者：15人 一般：500人

【協力・連携団体および実施内容】

- ①黒澤泰氏「地域猫活動のすすめ」著者
 - ・勉強会講師依頼、助言、相談等
- ②緑ヶ丘地区、西山台自治会会長、民生委員、社協ほか
 - ・アンケート配布、回収、広報等
- ③自治会、社協、市民活動支援センター、民生委員ほか
 - ・猫ともクラブの案内、広報、相談、連携等
- ④ハッピータビークリニック、「犬猫救い隊」、教育委員会等
 - ・命の教室講師依頼、助言、広報、相談等

【広報およびスケジュール】

- 「広報・募集方法」

- → SNS、広報誌掲載、チラシ配布、回覧板、掲示板などの活用

- 「スケジュール」

- → 6月：黒澤泰氏講師依頼、ボランティア募集、アンケート作成、猫ともvol.11

- 7月：アンケート配布、回収、担当者役割分担

- 8月：アンケート集計、分析、行政・議員との勉強会①、猫ともvol.12

- 9月：「地域猫活動のすすめ」勉強会実施

- 10月：命の教室①、猫ともol.13

- 1月：行政・議員との勉強会②

- 11月：自治会勉強会・会議①

- 2月：命の教室③、猫ともvol.15

- 12月：命の教室②、猫ともvol.14

- 3月：自治会勉強会・まとめ

【収支予算】

- **収入の部：592,600円**
- 市補助金 280,000円
- 事業収入 100,000円 (チャリティ物販)
- 寄付・協賛 150,000円 (個人50件・団体10件、寄付)
- 自己負担 62,600円
- **支出の部：592,600円** (内 対象外経費 15,000円)
- 報償費 170,000円 (講師謝礼8件)
- 旅費 100,000円 (講師交通費)
- 需用費 235,000円 (資料、チラシ等作成、消毒関係)
- 役務費 8,400円 (切手代)
- 委託料 20,000円 (パネル展示設営)
- 使用料及び賃借料 30,000円 (パネル製作費)



【期待できる成果】

- ①大阪狭山市の猫問題の顕在化
- ②住民主体の地域猫活動への理解が深まる
- ③小さな命への思いやりと関心が高まる
- ④地域猫活動の可能性と行政の役割の明確化



ご清聴ありがとうございました！



。

* 大阪狭山市では令和4年10月から、どうぶつ基金の無料チケットを取り扱っています。不幸な命を増やさないために外猫の不妊去勢手術をしましょう！